



(LOGOS バイオフィーム) テーブル暖炉

No.7410000

取扱い説明書

保証書付

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよく読んで内容を理解してください。また、事故やケガ・器具の損傷等を防ぎ、安全に正しく使用していただくために、本紙に記載の注意事項は必ずお守りください。この取扱い説明書は、大切に保管してください。

Designed by LOGOS CORPORATION 発売元：株式会社 ロゴス コーポレーション
〒559-0025 大阪府住之江区平林南2-11-13 お客様専用回線 TEL.06-6681-8204 受付時間：平日10時～17時迄
ホームページ/ www.logos.ne.jp 全国キャンプ場の空き情報/ www.campjo.com

使用上の注意 ●火災・事故・ケガ、器具の損傷を防ぐため、下記の事項を必ず守ってください。

まずはじめに必ずお読みください。

- 器具の周囲(上方・前後・左右)は必ず次の空間をあけて設置してください。
【上方】100cm以上【前後左右】50cm以上を厳守してください。
- 器具の上方100cm以上の位置や場所でも、引火の恐れがあるものは絶対に配置・設置しないでください。落下した場合、燃え上がる恐れがあります。
- 器具の前後左右50cm以上の位置でも、燃えやすい物の側では使用しないでください。引火して火事になる恐れがあります。
- 器具の周囲は、最低でも必ず側面の一方が解放されている状態でご使用ください。
- 不燃性の床土又は台上で使用してください。また、燃料がこぼれても問題のない場所で使用してください。燃料がこぼれると設置場所に燃料が付着したり、燃料のシミが残る恐れがあります。
- 地震等により容易に可燃物が落下する恐れのない場所で使用してください。
- 地震等により容易に転倒又は落下する恐れのない状態で使用してください。
- 器具を放置するなど、傍を離れないでください。また、避難の障害とならない場所で使用してください。
- 多数の集合する催し等に際しては、消火器を準備したうえで使用してください。
- 室内での使用中は、必ず30分に一度の割合で換気を行ってください。
- 器具の周囲は、常に整理及び清掃に努めるとともに、燃料その他の可燃物をみだりに放置しないでください。
- 器具は、常に清掃及び手入れに努め、故障又は破損の有無を確認してください。
- 定期的に点検及び整備を行い、火災予防上有効に保持してください。



警告!

- 専用燃料「LOGOSバイオユニフォー エル」以外の燃料を使用すると、火災や事故の原因となるため絶対に使用しないでください。専用燃料以外(ガソリン・灯油・その他のアルコール類)の燃料を使用した際の火災や事故・ケガは、全て保証の対象外です。
- 燃料タンクに燃料が残ったままの保管、輸送は厳禁です。燃料がこぼれ出て周りのものを汚します。

燃料給油(別売専用燃料)について

- 燃料を入れる前に、必ず容器のラベルに記載の注意事項を熟読し、理解したうえで取扱ってください。
- 使用中に燃料を補給する際は、必ず一旦消火し、器具の熱が冷えてから行ってください。
- 燃料を注ぐ際は、必ず必ずウィック(芯)に燃料を十分注いでください。その後、燃料タンク天面の吸気口から周りにこぼれないように燃料を給油してください。燃料は吸気口に届かない量にしてください。燃料が吸気口を塞いでしまうと正常に燃焼しません。(取扱い説明書の本編、燃料の給油の項を参照してください。)

着火前・着火時



注意!

- 着火の前に、器具や周囲に燃料漏れがないことを確認してください。
- 着火の際は、ターボライターなど着火力が強く、連続燃焼が可能なライターを使用してください。一般的なライターでは着火できない場合があります(使用方法の本編に着火の項で図の説明をしていますので参照してください。)
- 着火直後にボンという音と共に少しはげる場合があります。顔や手などを近づけないように注意してください。

使用后

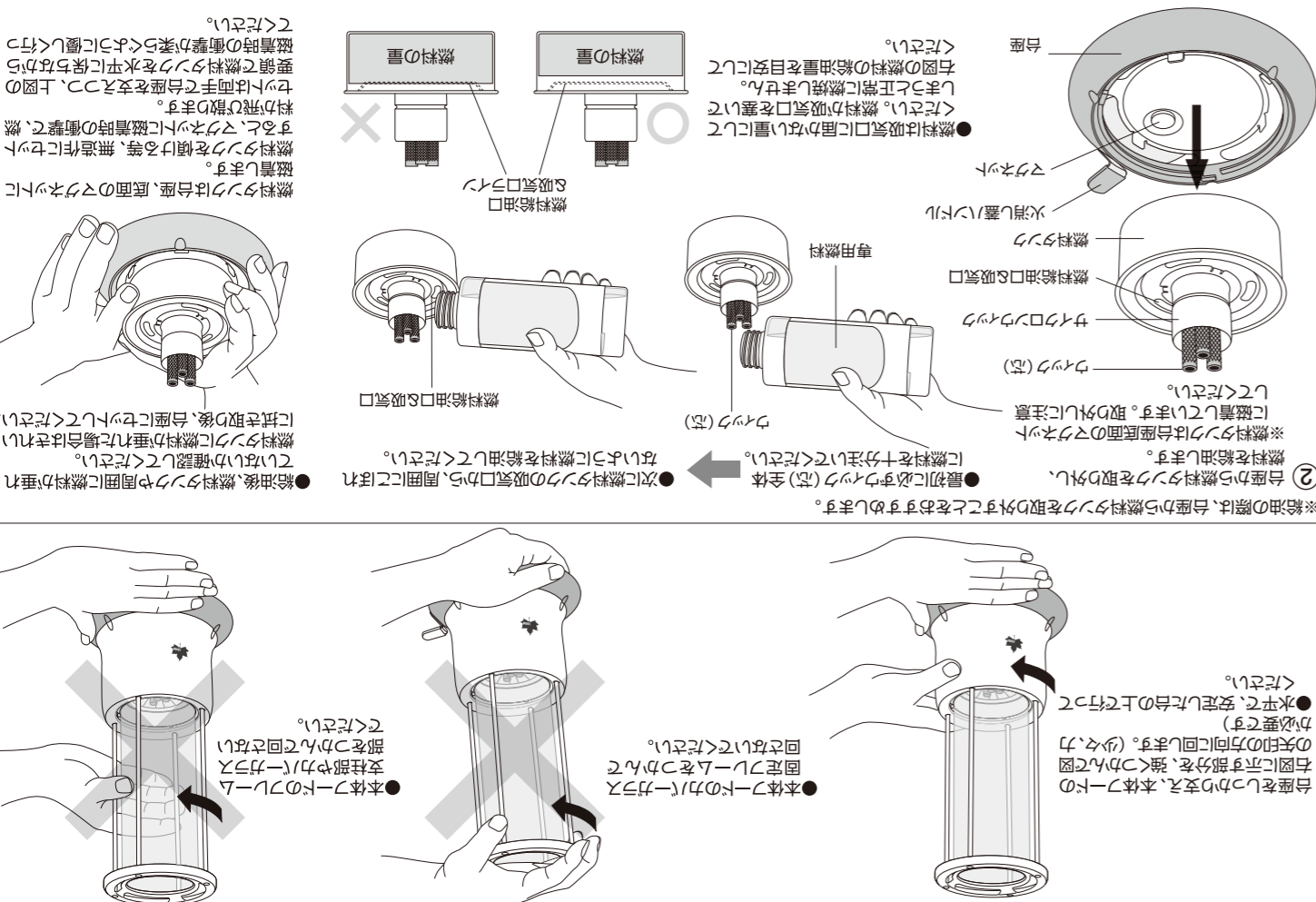
- 使用后に燃料タンク内に燃料が残らないように必ず燃焼し切ってください。
- 移動や収納は、器具が完全に冷えたことを確認したうえで行ってください。
- 燃料が残った場合は、専用燃料の容器に移し替えてください。(使用方法の本編に図で説明していますので参照してください。)
- 器具に燃料が垂れている場合は、きれいに拭き取り乾燥後、密封状態の専用燃料と共に高温多湿を避け、子供の手が届かない暗所に収納保管してください。

※製品は予告なく仕様を変更する場合があります。
※本品に関するアフターケアは、日本国内のみの対応となります。日本国外では対応ができませんのであらかじめご了承ください。

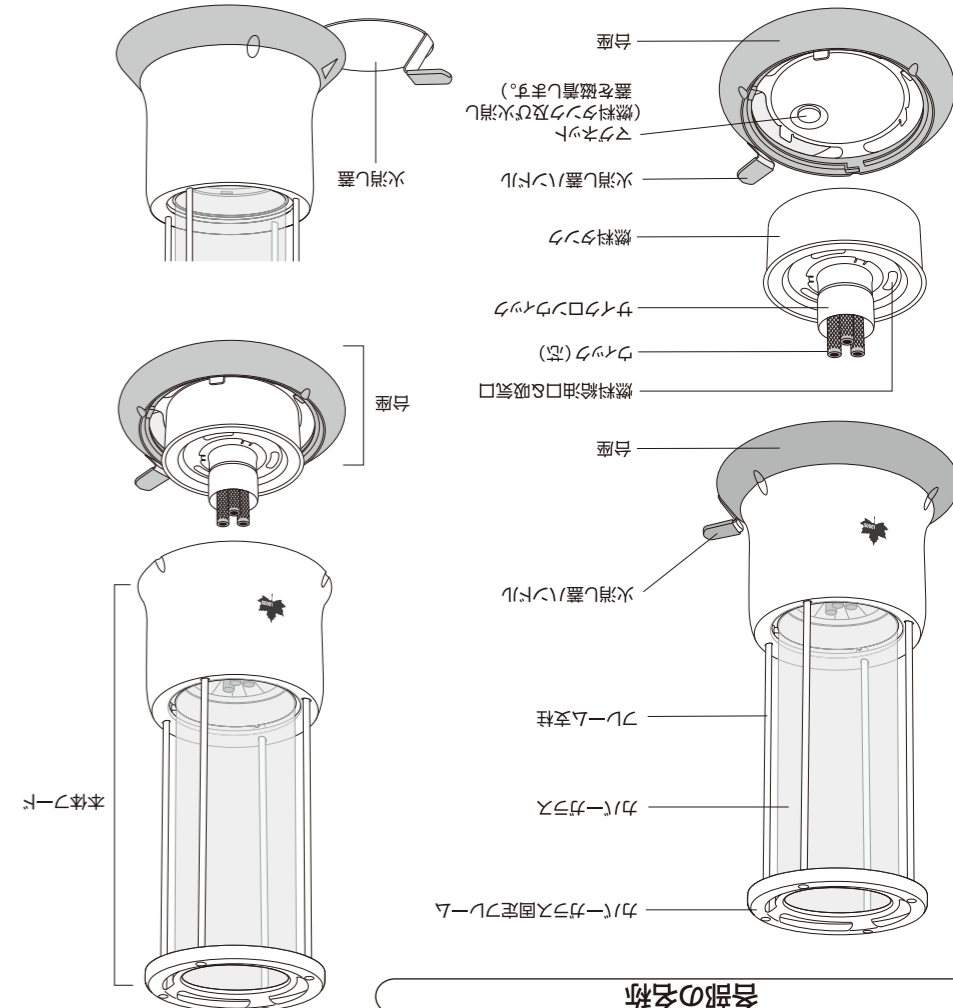


禁止!

- 専用燃料「LOGOSバイオユニフォー エル」(別売)以外の使用は厳禁です。
- 燃焼中・不燃中を問わず、本品の上には絶対に物を載せないでください。
- 燃焼中、容器を載せて液体を沸かす行為は危険ですから絶対にしないでください。
- 燃焼中は、器具の移動や燃料の補給は絶対に行わないでください。
- 本来の使用目的以外に使用する等、不適切な使用をしないでください。
- 危険ですから子供に器具の取扱いをさせないでください。
- 密封状態の空間での使用は絶対にしないでください。
- 故障又は破損した器具は絶対に使用しないでください。
- 燃料缶に残った燃料は、トイレに流したり、地面等に捨てないでください。



■以下に示す操作は絶対に行わないでください。器具の損傷・カバーガラスの破損や、ケガの原因になります。



着火

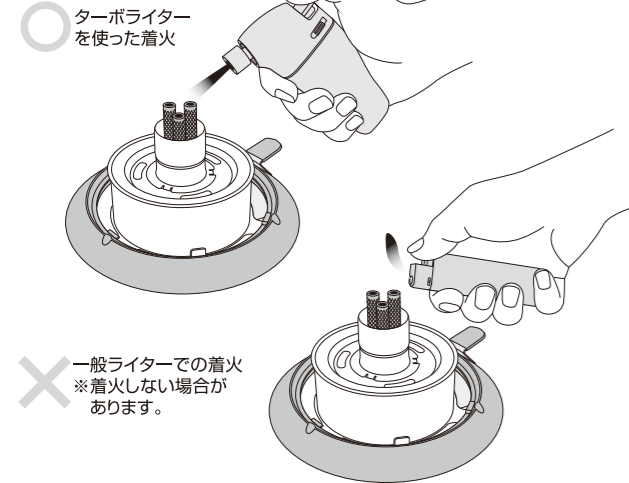
③ 燃料の給油が完了したら、ウィック(芯)に着火します。



注意!

- 着火の前に、器具や周囲に燃料漏れがないことを確認してください。燃料が垂れている場合はきれいに拭き取った後に着火してください。
- 着火直後にボンという音と共に少し、はぜる場合がありますが、使用に関して支障はありません。着火時、覗き込んだり、手などを近づけないように注意してください。

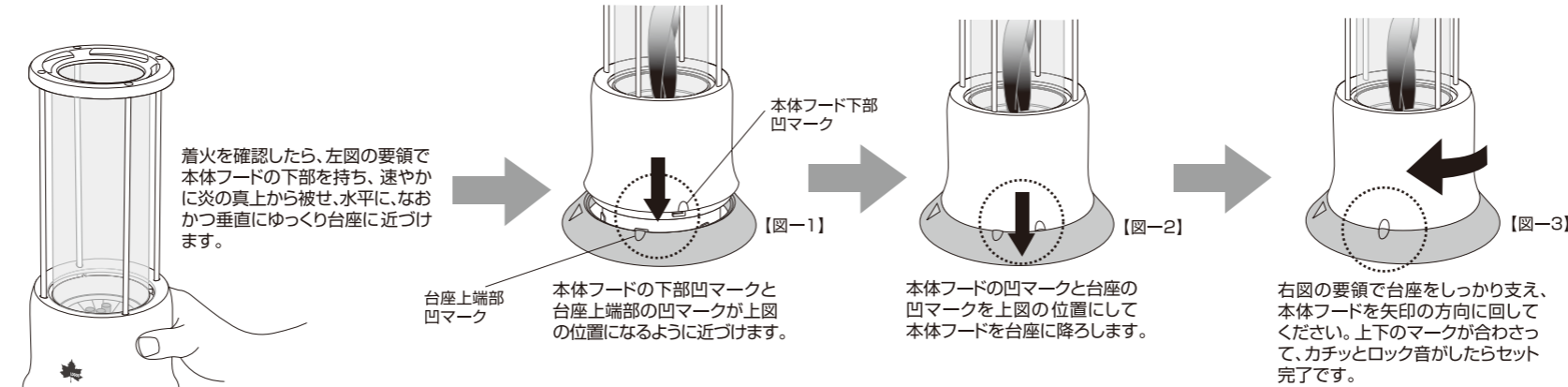
●着火は、ターボライターなど着火力が強く、連続燃焼が可能なライターを使用してください。使用する専用燃料は引火点が104℃と高いため、一般的なライターでは着火できない場合があります。



●2回目からの使用では、初回ほど明るく燃え上がらない場合がありますが、異常ではありませんので安心ください。

本体フードを台座にセット

④ 着火後、本体フードを台座にセットします。【図-1】・【図-2】・【図-3】を参照してください。着火を確認したら、本体フードの下部を持ち(カバーガラス固定フレーム・カバーガラス・フレーム支柱は絶対につかまないと絶対に、)速やかに炎の真上から被せ、水平で垂直にゆっくり台座に近づけます。●本体フードは炎を遮るような被せ方をすると炎が本体フードに沿って上がってくるため、火傷やフードを焦がしたり、スズで器具が汚れます。絶対避けてください。



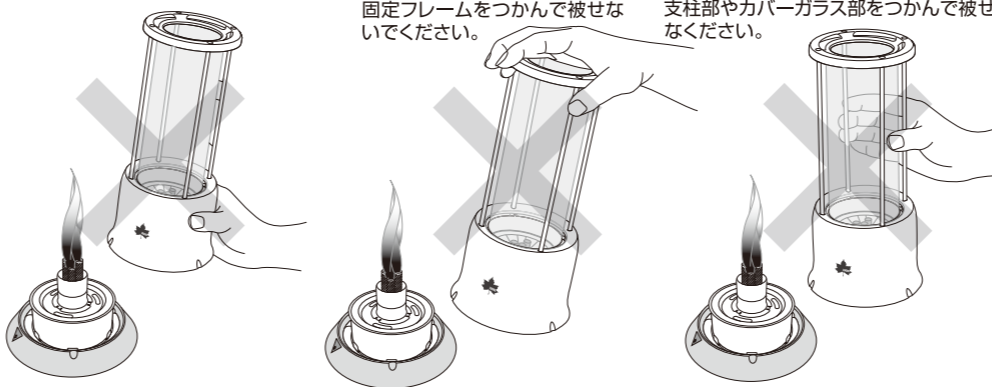
■以下に示す操作は絶対に行わないでください。器具の損傷・カバーガラスの破損や、ケガ・火災の原因になります。

■本体フードを台座に被せる場合

■炎を横切って被せないでください。

■炎の真上からでもカバーガラス固定フレームをつかんで被せないでください。

■炎の真上からでも本体フードのフレーム支柱部やカバーガラス部をつかんで被せないでください。



■本体フードと台座をセットする場合

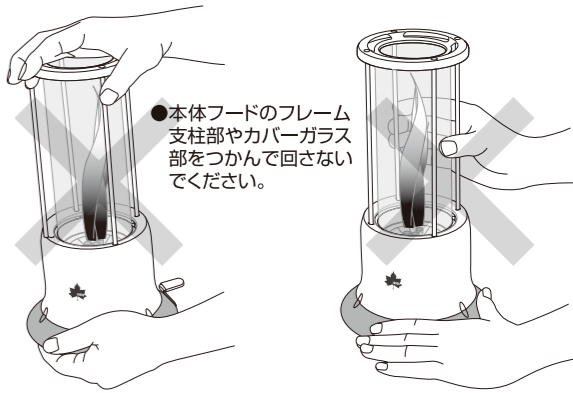
●本体フードのカバーガラス固定フレームをつかんで回さないでください。



危険!

■燃焼中は器具を浮かせたり傾けることは大変危険ですので、絶対しないでください。燃料が漏れ周囲に延焼する場合があります。

■着火後、本体フードを台座にセット時、カバーガラス固定フレーム開口部をつかむと火傷します。また、熱さのショックで器具の落下や転倒させた場合、器具の損傷・ケガや火災等の、大事故につながりますので右図に示す行為は絶対にしないでください。



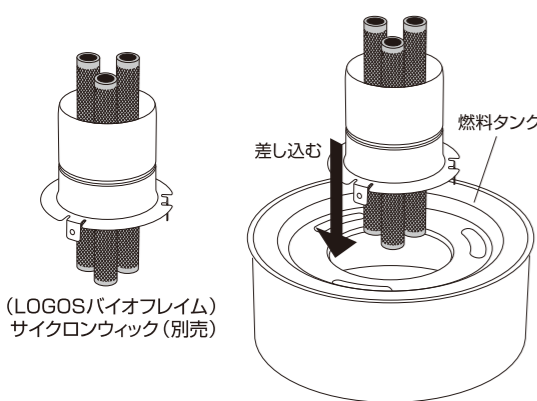
炎に勢いが弱い

■使用初期の段階で炎に勢いが弱い場合は、故障と疑う前に以下の事柄を検証してください。

- ① 燃料が少ない場合と考えられます。⇒ 燃料を補給してください。
- ② 燃料の入れ過ぎ(燃料タンクの給油口&吸気口に燃料がかぶって吸気口を塞いでいる)の場合と考えられます。⇒ 吸気口が開くように、小さめのスポイドで燃料タンクから燃料を吸い出してください。
- ③ ウィック(芯)に燃料が、注がれていない場合と考えられます。⇒ ウィック(芯)に燃料をしっかり注いでください。

■使用を重ねていくうちに、炎の勢いが弱くなってきます。このような現象は故障ではありません。上記の①②③の検証に加え以下の事柄を検証してください。

- ④ 燃料が古くなっている場合と考えられます。燃料タンクに燃料が残ったまま長期間の放置で、古くなっている。又は専用燃料容器蓋の締付けが弱く密閉されない状態で長期間放置したため、古くなっている。⇒ 新しい燃料に入れ替えてください。
- ⑤ サイクロンウィック(芯)の寿命で交換時期と考えられます。⇒ 新品「サイクロンウィック」(別売)と交換してください。交換方法は下図を参照してください。



(LOGOSバイオフレーム) サイクロンウィック(別売)

(LOGOSバイオフレーム) サイクロンウィックの交換方法 No.74101010

●(LOGOSバイオフレーム) サイクロンウィックは「LOGOSバイオフレーム・テーブル暖炉」シリーズ専用の交換用芯です。古いサイクロンウィックを抜き取り、新品を燃料タンクに差し込むだけの簡単作業です。

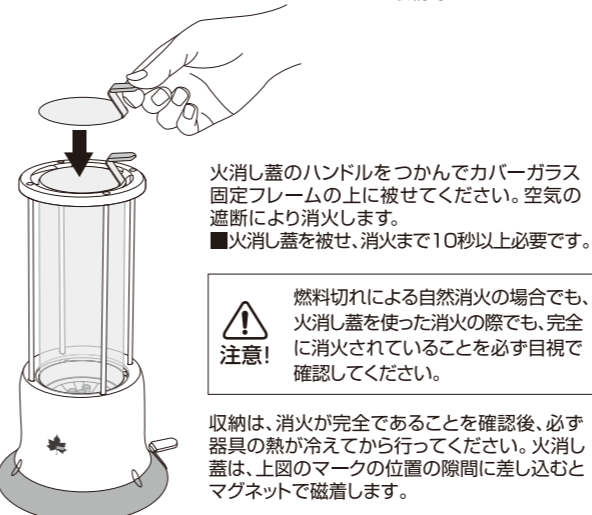
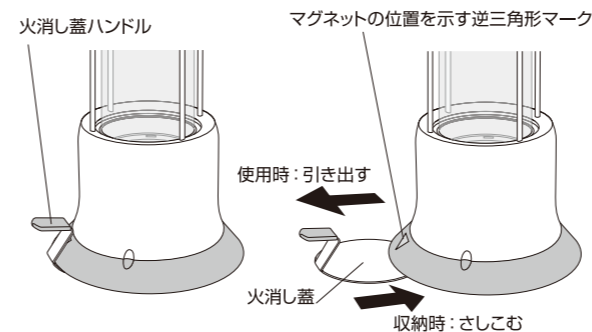
- 必ず器具側の説明書をご確認いただき、本品が使用できることを確認後取り付けてください。
- サイクロンウィックを交換の際は、消火後必ず器具やサイクロンウィックが完全に冷えたことを確認してから交換してください。
- サイクロンウィックは衝撃を与えたり、絶対に手を加えないでください。正常に燃焼しなくなる恐れがあります。
- サイクロンウィックの交換時期については、使用頻度や状況により大きく変わってきます。状況に応じた判断で行ってください。

○お求めの際は、ロゴス直営店もしくはロゴスコンシューマ係にお問い合わせください。
※サイクロンウィックは予告なく販売を終了する場合があります。ご了承ください。

消火

⑤ 消火する場合は、以下の手順で行ってください。

火消し蓋が台座底部のマグネットに磁吸引着しています。ハンドルを摘んで引き出してください。



火消し蓋のハンドルをつかんでカバーガラス固定フレームの上に被せてください。空気の遮断により消火します。

■火消し蓋を被せ、消火まで10秒以上必要です。

注意! 燃料切れによる自然消火の場合でも、火消し蓋を使った消火の際でも、完全に消火されていることを必ず目視で確認してください。

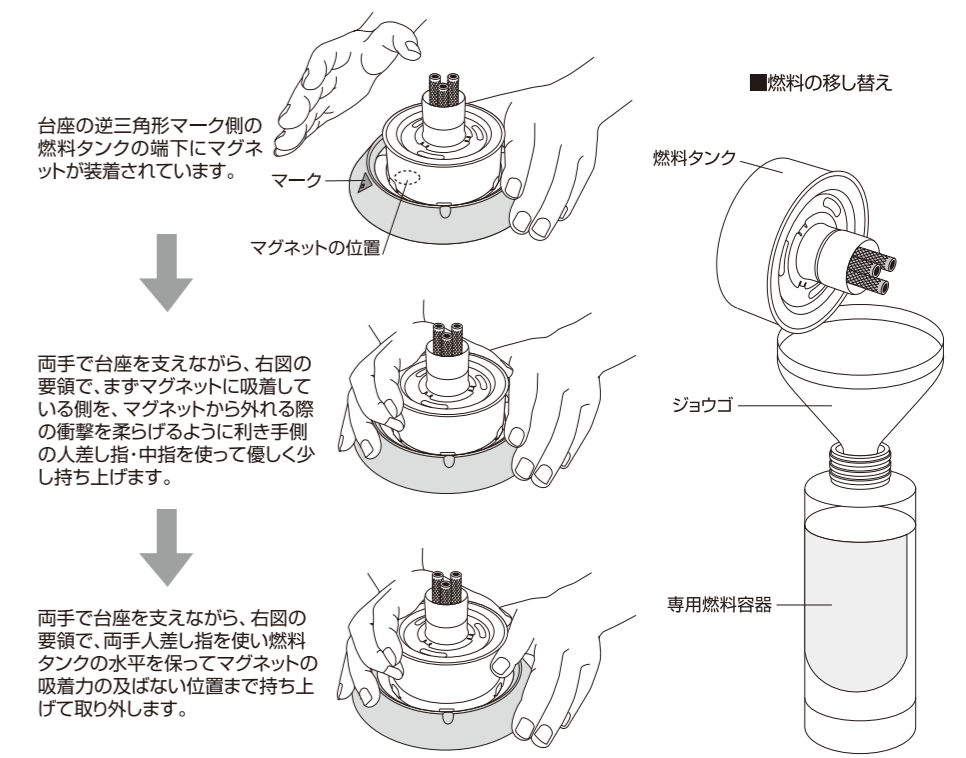
収納は、消火が完全であることを確認後、必ず器具の熱が冷えてから行ってください。火消し蓋は、上図のマークの位置の隙間に差し込むとマグネットに磁着します。

燃料タンクに残った燃料の取扱い

⑥ 燃料タンクの燃料は、使い切りが理想ですが、残った場合の燃料は以下の手順で専用燃料容器に戻してください。

消火後、器具が完全に冷えたことを確認後、燃料タンクを台座から外し、市販のジョウゴを使って専用燃料容器に移してください。

●燃料を専用燃料容器に移す場合、燃料タンクが台座にセットされた状態で行くと、タンクがマグネットから外れて落下し、飛び散った燃料で周囲を汚したり、タンクから垂れた燃料が台座に伝わるなどして、清掃のためタンクを台座から外すこととなります。つまり、二度手間になりますから、最初から燃料タンクは台座から外した状態で燃料の移し替えをしてください。



■燃料の移し替え

台座の逆三角形マーク側の燃料タンクの端下にマグネットが装着されています。

両手で台座を支えながら、右図の要領で、まずマグネットに吸着している側を、マグネットから外れる際の衝撃を柔らげるように利き手側の人差し指・中指を使って優しく少し持ち上げます。

両手で台座を支えながら、右図の要領で、両手人差し指を使い燃料タンクの水平を保ってマグネットの吸着力の及ばない位置まで持ち上げて取り外します。